

2020
年度

子どもたちの



こころを育む
総合フォーラム

9/11(金)

17:00応募締切

応募方法は
裏面をご覧ください

“こころを育む活動”

家庭、地域、学校、企業などが、
それぞれの立場で子どもたちの
こころを育むために献身、努力している
活動を募集します

大募集

表彰

全国大賞(1件) 50万円

優秀賞(5件程度) 20万円



子育てで大切なのは、「育てる」方法よりも、
そこにいる子どもが勝手に「育つ」ような環境を用意しておくこと。
そして、みんなの力を足し算すること。
「これも教育？ あれも教育？」といった、ちょっと意外で、
自分も一枚かみたくなるような楽しい取り組みをご紹介します。



こころを育む総合フォーラム 座長 鷺田清一

2020
年度

子どもたちの “こころを育む活動” 大募集

対象となる
活動

家庭、地域、学校、企業などのさまざまなグループで、継続している活動

子どもたちに持ってほしい“3つのこころ”が育まれる活動

自分に向かう“こころ”……自立心や自尊心を確立し、人間らしさや自分らしさを理解するこころ

他者に向かう“こころ”……人と人のかかわりを大切に、他者を思いやり、傷つけないこころ

社会に向かう“こころ”……さまざまな価値観を尊重し、社会と自分の関係性を理解するこころ

※新型コロナウイルスの影響による今年度以降の一時的な休止、または、オンラインでの活動も対象です。

※活動拠点が日本国内にあること ※政治活動、布教、営利目的ではないこと ※これまでの“こころを育む活動”受賞先は対象外

応募
方法

「応募申請書」は、2枚【必要事項1枚+活動内容(1200字)1枚】です(他薦も応募できます)

詳細は下記ホームページを確認のうえ、応募登録ページから申請ください



<http://www.kokoro-forum.jp/>

こころを育む

検索

応募締め切り

9月11日(金) 17:00



※応募関係書類は当事務局で厳重に管理し、「こころを育む総合フォーラム」運営に関わる事項以外には使用しません
※写真は審査時のみ使用します

選考の際に
重視する点

- タイトルは、活動内容をイメージできる言葉で簡潔に表現してください
- 活動内容は、以下の3点が盛り込まれていることが望ましいです
 - ①本活動を始めるきっかけとなったこと
 - ②本活動を無理なく続けていくために大切にしていること
 - ③本活動を通じての、心が和む、ほっこりとしたエピソードや子ども・周囲が変化したこと
- 選考に当たっては、現地調査も行うことがあります

表彰

- 全国大賞1件(賞状および賞金50万円)、優秀賞5件程度(賞状および賞金20万円)
- 結果発表は12月(予定)に当フォーラムのホームページにて発表し、入賞団体への文書にて通知します
- 受賞団体は表彰式(2月頃開催予定)にて受賞活動を発表していただきます

選考委員

鷺田 清一(大阪大学 名誉教授)を座長とした「こころを育む総合フォーラム」メンバー(計11名)



市川 伸一 東京大学 名誉教授

「ユニークだけれど、工夫すればうちでもできそう」と思えるような取り組みを紹介してもらえることを、期待しています。



今村 久美 NPO法人カタリバ 代表理事

人と会って活動すること自体に制限がかかる時代。でもこんな時代だからこそ、地域に根ざし、地道で意義ある活動をされているみなさん、応募をお待ちしています!



入江 杏 絵本作家、「ミシュカの森」主宰、上智大学グリーンケア研究所非常勤講師
悲しみから学ぶ「グリーンケア」は、悲しみは愛しみであることとの出逢い。誰かの悲しみに気づいてそっと手を差し伸べる…「こころを育む」活動を応援しています。



小国 綾子 毎日新聞ジャーナリスト

疑問符はちょっと背伸びすると感嘆符になります。子どもたちの「？」を大切に育み、「！」に変わる瞬間を共に喜ぶ……そんな活動と出会えることを楽しみにしています。



工藤 啓 NPO法人育て上げネット 理事長

ふと、子どもたちの心が育まれている、そんな日常の気づきや小さな変化を生むきっかけ。ちょっとみんなに聞いてほしいエピソードや活動を期待しています。



玄田 有史 東京大学社会科学研究所 教授

この春、公園や川べりで走り回る子どもたちを、たくさん目にしました。子どもの元気、安心、笑顔を支えている、大人の日頃の「本気」と「底力」に出会うのが、楽しみです。



鈴木 みゆき 国立青少年教育振興機構 理事長

日々の生活の中で気づいたこと、人とのつながりの中で心に響いたこと、それはあなたを揺さぶるエネルギーです。動いてみない? あなたに会えるのを楽しみにしています。



福田 里香 パナソニック株式会社CSR・社会文化部 部長

「教育」というと何かを教えなければと思いがちですが、何かをすることによって自然に学んでいる、そんな、えっ、これも教育?あれも教育?という活動、お待ちしております。



増田 明美 スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学 教授

スポーツの魅力は、教育性やコミュニケーション性の高さです。そんなスポーツの力を活用して、こころを育んでいる活動もたくさんあるでしょう。ぜひ応募してくださいね。



山極 壽一 京都大学 総長

この世界はさまざまないのちのつながりでできています。それを感じ、ひとつひとつのいのちを輝かせることが人間の心の働きです。そんな心を育むような活動を期待しています。

問い合わせ先

公益財団法人 パナソニック教育財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-10 第2ローレルビル6階

TEL 03-5521-6100 FAX 03-5521-6200